**職務経歴書**

**●●●●**

　〒000-0000　●●県●●市●●１丁目２番３号

自宅TEL　000-000-0000　携帯 000-0000-0000

E-mail XXXXXXX@zzz.com

**<<略　歴>>**

　これまでの主な経験の要約と今後に活かせるスキル、経験を最大限に活かし、再就職先においても貢献していく意欲があることを、５～7行程度におまとめ下さい。以下例です。

●●●●年●月　××大学政治経済学部経済学科卒業、同年4月●●●●入社。

企業保険契約部にて適格年金の財政決算報告書作成を担当し、以後××××××××と　一環して団体年金・個人保険分野の商品開発、証券アナリスト業務に従事。直近はコンサルティング部門にて　退職金の設計・コンサルティング業務を行なってまいりました。提案活動を主な切り口に、＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊課題解決に貢献することで実績を積上げてきました。

**<<業務内容・実績>>**

■適格年金の財政決算報告書の作成、収支予測・生命保険会社決算業務の経験

■証券アナリスト業務の経験

■個人商品・団体年金関連の商品開発業務の経験

■厚生年金基金・適格年金・確定給付企業年金の数理計算、退職給付債務の計算業務の経験

■退職金の設計・コンサルティング、退職給付債務の計算業務の経験

**<<職務経歴>>**

|  |  |
| --- | --- |
| 期 間 | 職務内容 |
| ●●●●年●月～●●●●年●●月  （●年●ヶ月） | 企業保険契約部企業保険総務課に配属  ■ 適格年金の財政決算報告書作成業務（収支管理、剰余金分析等）  計算事務を行なうとともに業務を効率化するPCツールを開発。年金制度、税制等の説明を通じ、営業担当者を支援。  ■ 団体年金分野における収支予測、生命保険会社決算業務  新システム導入にともない新たな計算プログラムおよびスプレッドシートを作成し収支予測業務の精度向上及び作業の効率化促進に貢献。 |
| ●●●●年●月～●●●●年●●月  （●年●ヶ月） | ○○株式会社 ○○産業調査部 へ出向  ■ 証券アナリスト業務を担当  エクセル、アクセス等PCを活用し、主要経済産業データ・個別企業の財務指標の分析を  行う。分析結果の検証および補足・確認を行うため主要企業への訪問およびヒアリングを  適宜実施し、運用部門及び融資部門向けにレポートを作成。  [担当企業] ○○○○、○○○○、○○○○ |
| ●●●●年●月～●●●●年●●月  （●年●ヶ月） | ○○株式会社 ○○主計部数理商品グループ へ出向  ■ 個人保険の商品開発、生命保険会社の決算業務を担当  損害保険会社の生保子会社で個人保険の新商品開発（主務官庁提出書類おもに算出方法書、将来収支分析書の作成）を行う。  [主な開発商品] ○○○○、○○○○  ■ 決算期・収支予測主務官庁提出時期は保険会社の決算業務を担当 |
| ●●●●年●月～●●●●年●●月  （●年●ヶ月） | 法人営業企画部法人商品開発グループへ異動  ■ 団体年金関連の商品開発業務（基礎書類作成・金融庁への担当官への説明）を担当。  GIC、解約控除付企業年金保険の開発では中心的な役割を果たす。  [主な開発商品] ○○○○、○○ |
| ●●●●年●月～●●●●年●●月  （●年●ヶ月） | 企業保険数理室へ異動  ■ 厚生年金基金・適格年金・確定給付企業年金の数理計算業務  20\*\*年度…厚生年金基金の変更計算時における掛金計算および財政検証報告書、 再計算報告書等の法定帳票の作成を担当。  20\*\*年度以降…適格年金の掛金試算の決定業務、確定給付企業年金の厚生労働省宛 法定帳票の作成を担当。  ■ 退職給付債務の計算業務  20\*\*年度…厚生年金基金を実施している企業の退職給付債務、勤務費用等の計算 および報告書作成を担当。  20\*\*年度以降…適格年金実施企業、企業年金制度未実施企業（年間約\*\*\*件）の 退職給付債務等の計算業務の責任者として、計算結果の再査決定を担当。 |
| ●●●●年●月～●●●●年●●月  （●年●ヶ月） | ○○株式会社 コンサルティング部 入社  ■ 退職金の設計・コンサルティング業務 人数1000名の企業から100名前後の企業まで、数件の退職金改定に携わり、コンサルタントとして、長期 予測等検討に費用な数値等の算出やプレゼン資料の作成、役員向け説明を行う。  ■ 退職給付債務の計算業務 企業年金実施企業、企業年金制度未実施企業の退職給付債務、勤務費用等の計算を計算担当から数値 結果に対する署名業務まで全作業を行う。 |

**<<取得資格>>**

●●●●年●月 普通自動車運転免許

●●●●年●月 TOEIC　720点

**<<自己PR>>**

自己PRは、あなたがどんな能力を発揮し、どのように会社に貢献することができるのかを語る重要な項目です。

採用担当者の目に留めるためにも、求人票と関連づけた実務能力をアピールするようにしましょう。

※※　以下は、あくまで事例です。ご自身の職種に合わせて作成しましょう。　※※

■結果を出すために努力してきた自分なりの工夫、強み

■社内外の方と協力する姿勢、自分なりのコミュニケーションの工夫

■社内表彰や業界団体の窓口、担当業務以外でも業務や部門を超えた横断的な役割

■定型業務スキルのみならず、ヒューマンスキル、ポータブルスキルなど

以上